

◇ 令和3年度 事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

1. 総括

令和3年度は、前年度に続き新型コロナ・ウイルスの影響を受けた年となりましたが、工夫を重ねた事業活動を行い、県民が情報サービスの恵沢を広く享受できる環境づくりや高度情報通信ネットワーク社会の形成を推進して地域経済の発展及び公共福祉の増進を図るという事業計画を実現することができました。

令和3年度事業活動での特記事項では、「第3回千葉県内中小企業向けビジネス交流会」を対面式及びオンライン方式の併用方式で開催し、成功裡に実施できたこと。令和元年度、同2年度に続き、令和3年度も受託した「千葉県委託事業（中小製造業向けスマート化推進事業）」を計画どおりに遂行し、当協会の知名度向上に貢献できたことが挙げられます。

2. 事業活動報告

下記組織（1室・5部会）が中核となり、事業活動を実施しました。

（事業活動組織）

- | | |
|-------------|--------------|
| a. 企画調査室 | d. 広報部会 |
| b. 総務福利厚生部会 | e. 教育技術部会 |
| c. 事業企画部会 | f. コンソーシアム部会 |

（1）情報サービスに関する調査及び研究に関する事業

令和3年度は、次の事業を実施しました。

①情報技術研究、調査に関する事業

A. ANIA活動

ANIA（全国地域情報産業団体連合会）の賀詞交歓会は中止されましたが、その他の会議（全国大会、総会、理事会、事務局会議）はWeb形式で実施され、当協会は積極的に当該会議に出席し情報交換・収集を行いました。

（全国大会：11月4日。総会：7月2日。理事会：4月22日、11月4日。事務局会議：8月20日、10月8日、3月7日）

B. 千葉県内大学による卒業論文発表会

毎年県内理系大学の学生や専門学校生による卒業論文発表会を開催し、学生の勉学向上支援と、情報産業界、教育界、官公庁間の連携強化を図った事業を展開していましたが、令和3年度は開催を中止しました。

C. 視察ツアー

令和3年度は開催を中止しました。

本事業は、他業態の実態を肌で体験しIT推進に活かす目的で実施しており、過去の開催実績は、「農業の実情把握」「漁業の実情把握」「オーガニックと地域活性化の現況把握」ツアーがあります。

(2) 情報化に関する普及啓発及び促進に関する事業

令和3年度は次の事業を実施しました。

①情報システムの普及推進支援事業

A. ちばIT利活用フォーラム(11月16日)

千葉県地域IT化推進協議会との共催で、Web形式で開催しました。官公庁、当協会会員企業、会員外企業等の方々が多数視聴参加され、内容が分かり易かったと好評を得ました。

なお、本フォーラムは、後述する当協会主催の「千葉県内中小企業向けビジネス交流会」と同時開催をしています。

フォーラムのテーマは、「DXの推進」で、以下の3講演が行われました。

- a. 自治体にDXの推進について
- b. DXへ向けたBPRによるデジタル改善アプローチ
- c. 行政DXの考察～デジタルが導くwell-being～

B. 千葉県内中小企業向けビジネス交流会

千葉県内中小企業のIT化を支援する目的で、当協会会員企業による「ITの展示会」と「講演会」を「対面方式」と「オンライン方式」の「併用方式」で実施しました。

初回開催となる「令和元年度は対面方式のみ」、「令和2年度はオンライン方式のみ」で開催した実績を活かし、「令和3年度は、新型コロナウイルス感染防止を徹底し人数を制限して会場へ入場いただく等の対策取った対面方式とオンライン視聴も可能とした併用方式」を採用し実施しました。

本事業の開催概要、総括等は以下のとおりです。

【開催概要】

- ・開催日時 令和3年11月16日(火) 10:00~17:00
- ・開催形式 対面方式とオンライン方式を「併用して実施」
- ・開催内容 講演会、展示会
- ・開催規模
 - ・出展企業数 16社
 - ・参加者数
 - ・来場者 300名
(事前予約数+当日入場者数)
 - ・視聴者 500名(総アクセス数)
 - ・その他の参加
 - ・後援: 7先
 - ・協賛: 8先
 - ・共催: 1先
- ・参加者費用
 - ・無料
- ・出展企業費用
 - ・5.5~22万円の3区分(税込)
- ・広告方法
 - ・チラシ、ポスターを会員・関連団体・職域等へ配付し、当協会HPへの掲載、プレスリリース依頼等を実施。
- ・後援
 - ・経済産業省関東経済産業局、千葉市、公益財団法人千葉県産業振興センター、公益財団法人千葉市産業振興財団、一般社団法人千葉県商工会議所連合会、千葉県商工会連合会
- ・協賛
 - ・(株)千葉銀行、(株)千葉興業銀行、(株)京葉銀行、東日本電信電話(株)、富士通 Japan(株)、(株)ジーウェイブ、ミツイワ(株)、(株)オニオン新聞社
- ・主催 公益社団法人千葉県情報サービス産業協会
- ・共催 千葉県
- ・出展企業
 - ・ちばぎんコンピューターサービス(株)、東日本電信電話(株)千葉事業部、(株)ジィ・シィ企画、ちば興銀コンピュータソフト(株)、(株)ASネットワークセキュリティ、(株)オニオン新聞社、(株)京葉情報システム、公益情報システム(株)、(株)ジーウェイブ、首都圏システム開発(株)、(株)千葉測器、NPO 法人日本情報技術取引所、(有)ネクストエンタープライズ、(学)三橋学園船橋情報ビジネス専門学校、(株)ベイキューブシー

【講演概要】

・基調講演

- ・他人事ではない、サイバー攻撃の実際と対策について

トレンドマイクロ社 大三川 彰彦氏、花岡 弥生氏

・パネルディスカッション

- ・各社それぞれのDX

株式会社ジィ・シィ企画 矢ヶ部 啓一氏

株式会社千葉測器 狐塚 一則氏

株式会社マイナビ 井上 慶子氏

東日本電信電話株式会社 境 麻千子氏

【全体総括】

- ・対面方式とオンライン方式の併用

- ・本事業の過去3年間の入場者数等。

- ・令和元年度 「対面方式」 27ブース設置、来場者400名

- ・令和2年度 「オンライン」 16ブース設置、登録者508名

- ・令和3年度 「対面方式」と「オンライン方式」の併用。

(準備対応)

- ・会場への入場は、3密防止を徹底し入場者数上限を130名迄に自主的設定し、オーバーする場合は入場制限、入れ替え等を行う準備を整えました。

(コメント)

- ・当日の来場希望者数は上限数を上回るものとなりましたが、円滑な出入りと広いロビーを利用した自主的な待機利用で入場制限することなく、来場者の満足いく環境が維持でき、来場者に好評価をいただきました。

(準備対応)

- ・「オンライン視聴」は、人数制限のため会場に来られない方々、特に、IT業界以外の方々にも気軽に視聴いただけるように、昨年実施した「パスワード制約を外し」、自由に視聴できるようにしました。

(コメント)

- ・「フリーエントリー方式」と「対面併用方式」が功を奏し、最大アクセス数が120件となり、昨年の100件を超える程結果となりました。

(運営面でのコメント)

・会場の中央部分を講演者席と来場者席にし、周りにブースを配置する方式を採用しました。

⇒講演者の登壇時には、出展者と来場者の全員が来場者席に着座し、講演終了後に、着座していた出展者と来場者各ブースに移動し、来場者がブース訪問するという流れができ、講演会参加とブース訪問がメリハリ良く行われ、好評でした。

C. ロボット・カー 親子プログラミング教室

令和3年度は開催を中止しました。

本事業は、地域社会へのIT普及と学校のIT学習導入を踏まえ、小学校高学年生のレベルに合わせ、専用プログラムを利用し、教材の「ロボット・カー」を走行させるプログラミング学習で、親子に参加していただき、実際にプログラムを組み「ロボット・カー」が直進・後退・進路変更等を行う様子を体験するものです。

② 情報システム活用啓蒙推進事業

A. 講演会・セミナー等

(ア) 「賀詞交歓会講演会」

令和3年度の賀詞交歓会は開催を中止しました。

B. 広報活動

(ア) 広報誌「CHISAジャーナル」

第45号(総会号)と第46号(新年号)を発刊しました。

新年号の表紙は、明るい希望のある未来を願い、満開の桜の下を走行する小湊鉄道の景観を掲載しました。

当ジャーナルが、当協会の事業活動報告と共に、コロナ禍にある読者の皆さんへ、心の安らぎが与えられればと願っております。

(イ) 協会活動報告「協会だより」

当協会では、協会活動を会員と地域の方々にも知っていただく目的で、「協会だより」を作成し、ホームページに掲載・発信しています。

本協会だよりは、理事会開催の都度作成し、理事会の審議内容や協会組織である各部会の活動状況をお知らせしています。

令和3年度の発信回数は5回となりました。

(3) 情報サービスの人材育成及び確保に関する事業

令和3年度は次の事業を実施しました。

①情報サービスの人材育成に関する事業

A. CHISA実践型新人社員研修（実践型人材養成システム）の実施

新人社員を対象とした研修で、当協会が組織する「CHISA実践型新人研修実行委員会」が企画運営を担い、教育訓練機関と連携し実施しています。本事業は14年の実績があり、受講メリットの一つに研修受講生間に同期意識が醸成されることが挙げられます。

研修参加企業が多岐に亘るため、研修終了後、受講生が所属企業に戻った後でも、気兼ねなく他企業の仲間に連絡が取り合えるという効果が生まれています。

令和3年度の受講者数は18社、59名でした。

B. 新技術調査研究会の活動

令和3年度は、新技術調査研究会事業の実施を中止しました。

本活動は、令和3年度で19年目となる歴史を持ち、会員企業若手技術者の育成と参加者の企業間交流を主目的とした事業を行っています。

年度初めに参加者を募り、研究テーマ別にチーム編成後、テーマに沿って共同研究を行ってもらう活動です。

この年間活動の成果を、年度末に開催する「成果発表会」で発表することとしていますが、新型コロナウイルス感染防止のため中止しました。

C. 技術研修会の開催

IT技術者育成のための研修「CHISA情報通信人材研修」を技術系、業務系、管理系、ヒューマンスキル系の4分野に亘って開催をしました。

令和3年度は新型コロナウイルスの影響を受け、開催規模が小さなものとなりましたが、計12コース、112名の方に受講していただくことができました。

②情報サービスの人材確保に関する事業

A. インターンシップ・マッチング会

令和3年度は、インターンシップ・マッチング会の開催を中止しました。

本事業は、インターンシップを通し学生の企業就労体験を支援するもので、令和3年度で21年目を迎えます。

毎年インターンシップへの参加を希望する学生が多いため、学生と会員企業を集めたマッチング会を開催し参加者を決定する事業と行っています。

(4) 情報サービス産業の経営基盤の確立整備に関する事業

令和3年度は次の事業を実施しました。

①経営基盤の確立に関する調査、研究事業

A. 学生向け合同企業説明会の開催

学生向けの会社説明会を開催しました。

開催は、新型コロナ感染防止を徹底し、開催日を2月1日と2月22日の2回に分け、対面式で実施しました。

当協会会員の参加企業数は各開催日とも13社の計26社で、参加学生数は、それぞれ457名、398名と前年並みとなり、学生の関心の高さが伺えました。

②会員の福利厚生向上に関する事業

A. CHISA総合共済制度（別法人、「なのはな共済会」が運営）

本事業は、なのはな共済会事業として実施しているもので、同制度を実施してから令和3年度が21年となります。

この間、共済会の加入者に充実した保障と各種福利厚生サービスを提供し、加入企業のニーズに応えられる活動を行っています。

同事業ではリゾートホテルの会員券を所有しているため、組織上別法人としていますが、内容としては当協会会員向けの福利厚生事業を行っているもので、本共済会の加入条件は当協会会員であることとなっています。

このため、共済会運営は当協会が実施しており、加入企業向けのサービス充実を行っています。

(5) 情報サービス産業の振興に係る国内外との交流及び連携促進に関する事業

令和3年度は次の事業を実施しました。

①会員間、関連外部団体との交流・連携

A. 会員企業懇親会

令和3年度は、会員企業懇親会の開催を中止しました。

会員企業間の懇親を深める目的で開催しており、会員企業であれば、誰でも参加でき、広い視野で会員企業間交流ができると好評でしたが、感染防止の観点から中止としました。

B. スポーツ大会等

令和3年度は、会員交流ゴルフ大会を3月に開催しましたが、その他のスポーツ大会等は開催を中止しました。

会員交流を目的としており、会員企業の従業員には好評な事業ですが、新型コロナウイルス感染防止を図るため、軟式野球大会、フットサル3情産協団体対抗頂上戦、CHISAフットサル大会は中止としました。

C. 他県協会との交流会の開催

東京、神奈川、埼玉、山梨、福島、千葉の情報サービス産業協会6団体で組織する「広域首都圏情報団体連絡協議会（略称：メトロ）」に参加し、情報交換等をとおして当協会の発展に寄与しました。

なお、令和3年度の行事内容は以下のとおりで、会議はWeb形式としました。

なお、令和4年度は当協会が当事業の幹事団体となります。

- ・事務局会議開催日：7月30日、11月29日
- ・幹部会議開催日：3月11日
- ・メトロエリアグリーンゴルフ大会：11月26日

②官庁等との交流・連携

官公庁等との交流、連携をとおし、下記の受託事業・助成金事業を実施する他、関係する委員会のメンバーとして参画し活動しました。

A. 千葉県委託事業「中小製造業向けスマート化推進事業」

令和3年度も、千葉県委託事業「令和3年度中小製造業向けスマート化推進事業「IoT・AI等利活用促進事業」を受託・実施し、受託目的を達成することができましたが、令和元年度から実施してきた本事業は、令和3年度を以って終了となります。

なお、令和3年度実施状況の詳細は、以下のとおりです。

- ・IoT・AI活用セミナーの開催 計1回

当協会が主催する「第3回千葉県中小企業ビジネス交流会『千葉県IT-EXPO2021』」と連携して開催

(開催概要)

- ・開催日 令和3年11月16日
- ・開催方法 対面方式とオンライン方式の併用
- ・開催内容 講演会、展示会
- ・開催規模
 - ・出展企業 16社
 - ・参加者数 ・来場者 300名
 - ・視聴者 500名
- ・その他の参加
 - ・後援7先 ・協賛8先・共催1先

- ・ I O T 実習講座の開催（計3回）
 - ・ 9月21日 15社25名 参加
 - ・ 10月19日 13社24名 //
 - ・ 11月17日 15社18名 //
- ・ A I 体験型実習講座（計2回）
 - ・ 10月6日～7日 18社26名 参加
 - ・ 12月7日～8日 16社23名 //
- ・ 専門家派遣による支援
 - ・ 実施件数 16件
(アプローチ総数 21件、内中止5件)
- ・ I O T 等ワンストップ窓口の設置
 - ・ 利用件数 19件
- ・ A I 集中支援 0件
(新型コロナウイルスの影響)

- B. スマート化推進会議・千葉県 I O T 推進ラボ（主催：千葉県）
千葉県産業振興課、高度ポリテックセンター千葉、千葉県産業振興センター、千葉県産業支援技術研究所の各機関と連携する会議に出席し、県内中小企業の I O T ・ A I の利活用推進を図った。
・ 6月14日、12月24日、3月23日（計3回）
- D. 産官学連携支援機関連携会議（主催：千葉県産業振興課）
地域未来投資促進法に係る関係機関の連絡会議で、人を中心とした I C T 利活用推進等を目的とした会議。
- E. 千葉県地域 I T 化推進協議会（主催：千葉県政策企画課）
千葉県の I T 化を推進するため産官学で構成された協議会
- F. 千葉県 I C T アドバイザリー会議（主催：千葉県政策企画課）
千葉県の I C T 戦略検討会議
- G. 千葉県男女共同参画推進連携会議（主催：千葉県男女共同参画課）
千葉県の男女共同参画を推進する会議

H. 高度職業能力開発促進センター運営協議会

高度職業能力開発促進センターの運営、助言を行う会議で、年2回開催された会議には鈴木事務局長がメンバーとして参加しました。

③加盟外部団体等

令和3年度は下記団体に加盟して活動する他、収集した情報を活用して当協会の発展に寄与しました。

- A. 情報サービス産業協会（J I S A）
- B. 全国地域情報産業団体連合会（A N I A）
- C. 広域首都圏情報団体連絡協議会（メトロ）
- D. 首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議
- E. 千葉社会保険協会

以 上